

令和
3年度

決算のお知らせ

7月19日(火)に開催されました第178回組合会において、
令和3年度の決算が可決承認されましたのでその概要をお知らせします。

令和3年度 決算のポイント

保険給付費は増加したが、
前期高齢者納付金の減少により黒字決算

決算概要

みなさんと事業主から納めていただいた保険料収入は、平均標準報酬月額および総標準賞与額の減少により、前年度より1,395万3千円減収の27億9,093万6千円となりました。

支出では、みなさんの医療費などにあてられる保険給付費は前年度より1億4,204万2千円増加し、13億3,109万3千円となりました。

高齢者の医療を支えるために支出する納付金については、前年度より2億5,848万7千円減少し、9億6,465万円の拠出となりました。内訳としては、前期高齢者納付金が2億7,853万2千円減少の2億2,022万円、後期高齢者支援金は2,004万8千円増加の7億4,440万4千円でした。

みなさんの健康づくりをバックアップする保健事業費には2億5,033万1千円を支出し、各種検診や保健指導、Smart Life Point制度などの事業を積極的に実施しました。

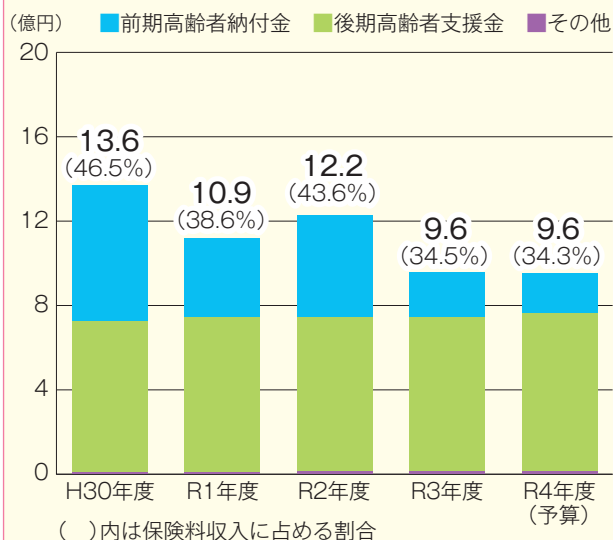
令和3年度は保険料収入が減少し、保険給付費が大幅に増加しましたが、前期高齢者納付金の減少で補うかたちとなりました。収支差引額は8億7,355万3千円の黒字、財政の健全性を示す経常収支差引額は1億7,958万3千円の黒字決算となりました。

健康保険組合を取り巻く状況

健康保険組合連合会が発表した令和4年度健保組合予算早期集計結果の概要によると、拠出金は一時的に減少しますが、健保組合全体での経常収支は2,770億円の赤字となることがわかりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、高齢者医療費が一時的に減少しており、これは極めて異例なケースとしています。今後は拠出金減少の反動や団塊世代の高齢化による後期高齢者支援金の増加など、拠出金の急増は必至であり、厳しい状況が見込まれています。

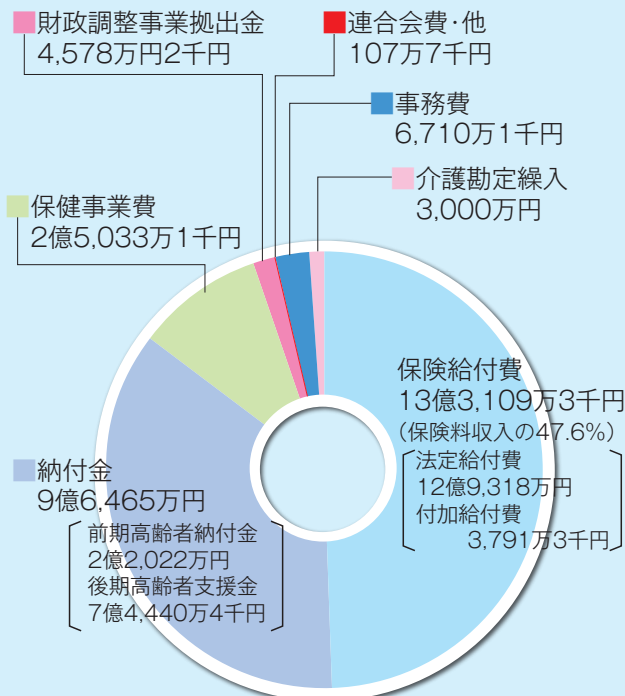
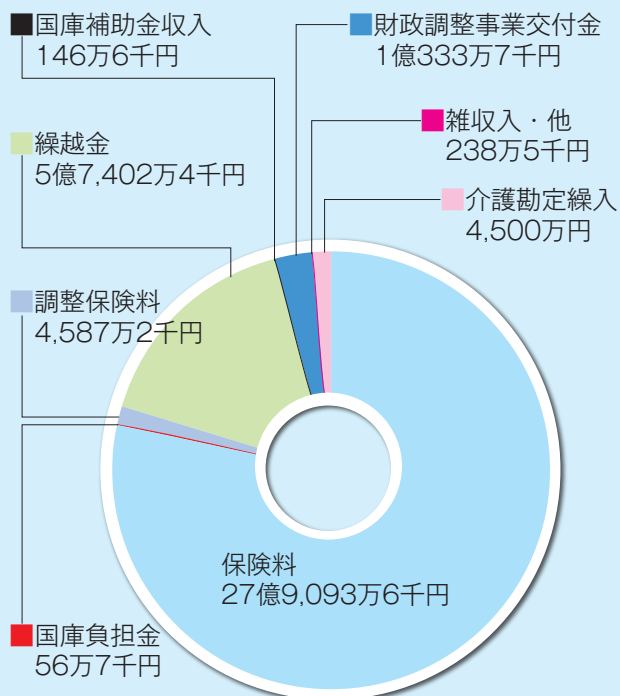
健康保険組合としましては、事業の効率化を図るとともに、みなさんの健康増進施策に力を注いでまいります。みなさんにおかれましては、各種検診などの保健事業を積極的に活用し、健康の維持・増進にお役立ていただくとともに、適正受診をこころがけ、医療費の削減にご協力いただきますようお願いいたします。

当健康保険組合の納付金の推移



収入合計 35億6,358万7千円

支出合計 26億9,003万4千円



令和3年度 決算額

収入合計

35億6,358万7千円

支出合計

26億9,003万4千円

収入支出差引額

8億7,355万3千円

経常収支差引額

1億7,958万3千円

健康 保険

決算基礎数値

被保険者数	3,939人 (男性 2,862人 女性 1,077人)
平均年齢	44.92歳 (男性 45.82歳 女性 42.50歳)
被扶養者数	4,930人
前期高齢者加入率	0.480769%
保険料率 (調整保険料率含む)	83.00/1000 (事業主 51.00/1000 被保険者 32.00/1000)

介護 保険

決算基礎数値

介護保険第2号 被保険者たる被保険者数	2,752人
介護保険料率	20.00/1000 (事業主 10.00/1000 被保険者 10.00/1000)

決算の概要

(単位:千円)

収入	科目	決算額
	介護保険料	532,001
	一般勘定受入	30,000
	合計	562,001
支出	科目	決算額
	介護納付金	428,713
	一般勘定繰入	45,000
	合計	473,713